

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月2日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103920
法人名	社会福祉法人 陵風会
事業所名	グループホーム西谷山
所在地	鹿児島県鹿児島市上福元町5604番地 (電話) 099-260-1343
自己評価作成日	令和1年12月23日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年1月30日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

共同生活において、明るい家庭的な雰囲気の中で、日常生活のお世話及び生活リハビリを行うことにより、利用者様とその有する能力に応じた生活ができるよう、明るい笑顔の絶えない雰囲気作りを念頭において運営を行っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

谷山地区の市街地や交通量の多い道路に近いが、静かで、明るくゆったりとしたリビングは気持ちよく過ごせる環境である。グループの母体医療機関や訪問看護との連携が十分に図られ、受診経過や介護計画のほか、ケアの経過はケース記録や業務日誌、申し送りノートなどに詳細に記録され、利用者・家族の安心につながっている。

管理者は職員の意見や提案・気づきを業務改善やサービスの質向上に結びつけるために、朝夕の申し送りや月1回の職員会議及びカンファレンス、勉強会等で聞き取るとともに、年2回の親睦会や必要時の個別面談など、日頃より話しやすい雰囲気作りを努め、対応はケアの現場でも職員と十分連携して進めるようにしている。

研修も年間計画に沿って積極的に実施されており、管理者自らも認知症ケアや言葉による身体拘束の防止など、会議や日常のケアの場も活用して職員の育成に取り組む、より良いケアの実現に職員と一体となって取り組んでいる。

管理者や職員は、利用者の食事への楽しみを充実させるために細かな配慮をしている。好みを献立に反映させるよう努めるとともに、それぞれの季節に応じた行事食や誕生会のケーキ、月に1回の外食もしくは寿司の出前など楽しい雰囲気づくりに取り組んでいる。また、季節の花見や初詣、ソーメン流し、いちご狩り、道の駅での買い物、外食など、季節に合わせた外出も数多く企画して、可能な限り楽しく外出できるように工夫・支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事務所・ホールに理念を掲示し、毎朝朝礼時に唱和し、日々のサービスに活かせるように取り組んでいる。	ホームの理念及び方針に沿って、地域や家族とのつながりの中で、利用者個々のペースで日常が明るく笑顔で過ごせるように日々取り組んでいる。理念は掲示して朝礼時の唱和や月1回の職員会議、日常のケアなどで振り返り、意義の理解を深めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しているが、なかなかイベントに参加できていない。朝、夕施設周辺の散歩の時に、地域の方々と挨拶や世間話をし、交流をしている	町内会に加入しており、地域の祭り等への案内をもらっている。日頃より散歩で出会う地域の方とあいさつや会話を交わし、敬老会での地域のボランティアや看護学生等の実習生、中学生の職場体験学習の受入れを行っている。地域に対しては、認知症等の相談に対応することの発信やホームの消防訓練への協力をお願いしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	中学生の職場体験学習や専門学校生の実習の受入れをしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者様のご家族、民生委員さんや行政担当者の方々に参加していただき、ホームの状況説明や意見交換ができる時間を設け、サービスの参考にしている	会議は家族や民生委員、地域包括支援センターの職員などの出席を得て定期的に開催している。利用者・ホームの現況、行事、事故やヒヤリハット等の報告、問題点等についての意見交換が行われている。委員からはトラブル等への対応などに具体的な助言が得られ、業務改善やサービス向上等に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	市担当者とは、連携を図り、現状報告や相談などができる関係が築けている	地域包括支援センターの職員には運営推進会議で意見をもらい、介護相談員の受入れも行っている。市担当者とは認定更新などの手続き等の際に、利用者の暮らしぶりやニーズなども伝え、必要な助言や対応をしてもらうなど連携を図っている。地区のグループホーム協議会や市の研修会等にも出席して意見や情報の交換も行っている。		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	月1回のカンファレンスにて確認しあい、身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、やむ負えずしないといけない時もあった	居室や玄関等の施錠は原則として行なわないケアに取り組み、利用者が外出しそうな様子を感じた場合は、職員が連携して見守りや声かけを行っている。身体拘束に関するマニュアルの整備や勉強会も実施して、職員の理解を深めている。特に言葉による行動制限や気持ちの押さえつけがないように、日々のケアで繰り返し確認している。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	認知症高齢者の身体的・精神的な理解を深めるための勉強会を設けている。身体確認や言葉の暴力を見過ごさないように注意を払い、全員で防止に努めている			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	現在まで利用された方がおらず学習の機会に乏しい。今後は勉強会する機会を設けたい			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結や改定については、文書を通して説明し同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関受付に意見箱を設置している。また、利用者の意見・苦情等に傾聴し納得のいく解決法を探っている。また、ご家族が来所時に意見や要望等を随時伺っている。	利用者の意見や思いは日々の暮らしを通じて、家族とは電話や来所時、運営推進会議、昼食をしながらの家族会の際に話しやすい雰囲気作りに努め多くの意見を得られている。申し送りノートや業務日誌などで職員は内容を共有しながら、必要に応じてケアプランにも反映し、サービスの質の確保及び向上に取り組み、対応等については家族にも電話や来所持の対話、毎月のホーム便りなどで報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や朝礼、カンファレンス等にて意見を交換し、運営に反映している。	管理者は朝礼やカンファレンス、職員会議のほか、年2回の親睦会や必要に応じての個別面談など、日頃から話しやすい環境づくりに努め、職員の意見や提案を聞き取っている。これらを業務及び提供するサービス内容の見直しや改善、職場環境や就業環境の整備につなげている。また、勉強会等を通じて職員の育成にも努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい雰囲気作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会などに積極的に参加し、サービス及び知識の向上に取り組んでいる。新人に対しては入職後研修も行い、介護の経験が無くても経験のある職員が育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的に研修会に参加し、交流の機会をつくり、情報交換している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の情報収集・把握を行い、本人に寄り添う事で本人の話を傾聴し、思いや不安を受け止められる関係性を築いている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や面談の際に、家族の話をよく聞き、相談や要望に応じている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族・関係者と連携を図り、情報収集して見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活のあらゆる場面において、出来ること・出来そうな事を一緒に行ない、共に支え合う関係を築く努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や西谷山通信にて日頃の暮らしの様子をお伝えし、情報を共有し、時には相談しながら支えていく関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力を頂きながら、外出等継続できるよう支援している。また、馴染みの方々の訪問時には、居室にてゆっくりと過ごして頂けるように支援に努めている。	利用開始時の聞き取りや家族来訪時の会話から、本人の希望を把握するように努めている。電話や手紙の取り次ぎのほか、家族や知人の来所時にはゆっくりとくつろげるように支援を行っている。本人が希望する近隣の散歩やドライブ等には可能な限り同行するように努め、家族の協力で外食や外出、墓参りなども支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、みんなで楽しく会話出来る雰囲気を作っている。レクや行事等へ誘導し、利用者同士の関係が上手くいくようにしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	次のサービス事業所へ移行される時には、情報提供している。契約終了後にも相談に応じている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で本人の思いや希望を把握するように努めている。	入所時の聞き取り及び日々の暮らしを通じて、また、介護相談員の情報等から思いや意向の把握に努めている。関係者で内容を共有して本人の視点や立場に立って話し合い、必要な場合は家族を交えて具体的な対応を検討して本人の希望に添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話やご家族の方より話を聞き、情報を得ながら把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で、観察や記録を通して把握したり、カンファレンスや申し送りノートで情報を共有して把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族との会話から思いを聞き、月1回のカンファレンスでスタッフの意見やアイデアを出し合ってプランに反映させている	本人や家族の意向や希望、看護師や定期受診時の医師からのアドバイス、並びにケース記録や申し送り等の情報を基に職員で話し合い、気づきやアイデアも含めたきめ細かなわかりやすい記述の介護計画を作成している。また、カンファレンスやモニタリングに基づき、定期的及び利用者の様々な変化に応じて適切に見直し修正されている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や申し送りで情報を共有しながら、実践につなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて、柔軟に対応している		
29		○地域資源との協働 <small>ハビリテーションを推進している</small> 地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問美容サービスなどを活用している。民生委員などの協力を得ながら支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連絡を密にし、状態の変化など対応している。本人やご家族の要望などある時は、ご家族の協力のもと希望する医療機関受診をお願いしている	母体医療機関をかかりつけ医としている入居者が多く、利用前の受診の経過も十分に把握して受診を適切に支援している。専門医受診も含めて必要な情報や対応は、職員ほか関係者で共有され、家族とも連絡が取られている。訪問看護師とも連携して健康管理に努め、母体医療機関により緊急時にも適切な医療が受けられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携にて週1回看護師に来ていただいている。気になる事を相談し、助言をもらっている。必要時にはいつでも24時間対応して頂いている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>お見舞いに行ったりご家族の方の相談にもりながら、病院関係者と情報交換し、早期に退院できるように支援している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化や終末期にホームで出来る事を説明している。状況の変化に伴い、ご家族やご本人に意向を確認し、主治医と連携しながら本人の状態に合わせた支援をチームで取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、「重度化や終末期に伴う対応の指針」で入居時に利用者と家族に説明を行い同意を得ている。また、日々の生活の中で入院や医療等の必要性が生じた時などに、本人や家族、かかりつけ医や看護師とも話し合い、適切に対応できるよう体制を築いている。看取りの事例もあり、急変時や事故発生に備えたマニュアルも整備され、勉強会も実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生に備えて、研修会などで知識を身に付け実践に活かしている。また、マニュアルもあり、定期的に勉強している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、避難訓練を年2回行い、消防隊に来てもらったり、自主訓練を行っている。非常食を備蓄している。</p>	<p>消防署と連携のもと、年1回の火災等を想定した避難訓練の他、夜間想定も含めた自主的な避難訓練も実施している。また、スプリンクラーや自動通報装置等の設置、並びに定期点検、食料・水の備蓄にも十分に配慮され、運営推進会議等を通じて地域の人々の協力が得られるように必要な情報提供や呼びかけも行っている。マニュアルの整備や関連する研修も行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の性格や個性を尊重し、プライバシーにかかわるケアを行う時は、自尊心を傷つけないよう十分な配慮を行うように、全員で話合って対応している	居室への入室・排泄時・入浴時・食事等の日々のケアに際して、利用者個々のペースを大切に誇りやプライバシー確保への声かけや対応を、職員が共有できるように話し合いながら支援している。接遇や個人情報保護などの研修も定期的実施して職員の意識付けを図っている。利用者の記録保管や居室保護にも十分配慮が感じられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が食べたいものや行きたい所など、希望をとりいれるようにして自己決定、自己実現できるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせて生活ができるように、その日の本人の気持ちを尊重し、出来るだけ個別性のある支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	日常の身だしなみや外出する際には、本人と一緒に洋服を選んでいる。また、訪問美容を活用し、定期的にカットや白髪染めをしてもらっている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食や嗜好を活かして食事作りを心掛けている。野菜の下ごしらえや片付けを手伝ってもらっている。月1回外食か出前をとり時々変化をつけている。	菜園の野菜の収穫や下ごしらえ、食卓の準備・後片付けなどに参加してもらい、好みも考慮して利用者が楽しく会話しながら食事ができるように工夫している。また、ミキサー食や刻み食などにも配慮している。季節の行事食や誕生会のケーキ、月に1回の外食もしくは寿司の出前など楽しい雰囲気づくりに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人ひとりの状態に応じた食事量やバランス、水分量を確保できるように努めている。好き嫌いがある方には、個別に対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1人ひとりの力に応じた歯磨き支援を毎食後行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて1人ひとりの排泄パターンを把握している。また、定期的にトイレの声かけ、誘導を行っている。	家族とも情報交換しながら、排泄チェック表の活用と共に、日常のケアを通じて利用者個々のパターンを把握し、本人の自尊心にも配慮しながら可能な限りトイレで排泄できるように支援している。また、利用者個々に合わせた排泄用品の使用など、これまでの生活習慣に沿った対応になるように職員が十分に話し合い、プランに組み込んで支援に反映している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食にヨーグルトを取り入れたり、散歩や体操等で身体を動かし水分補給を行っている。それでも出ない場合には、主治医へ相談し定期的に便秘薬を処方してもらっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回行っているが、利用者の状態に応じて行っており、希望があれば入浴日以外にも対応している。	利用者の健康状態に配慮しながら、場合によってはシャワー浴や清拭に変更することの対応を含め、個々のリズムに沿って入浴をゆったりと安心して楽しめるよう柔軟に支援している。ゆず湯や入浴剤の活用などを含む好みや習慣は、本人や家族から情報収集して十分に把握している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠できるようにリネンや環境整備・空調を調整している。また、本人のリズムに合わせ、休息をうながしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用・用法・用量について説明書や受診記録などで情報を共有している。また、確実に服薬確認し、前後の状態変化を観察し、申し送りや記録で全スタッフが把握できるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとりに合った役割を持って頂き、生活に張りがでるよう支援している。月々の行事や外食等を行い、楽しんで気分転換を図っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の体調や天候をみながら近隣への散歩や月1回戸外レクリエーションへも出かけている。個別にスタッフが付き添って本人の希望する場所へ外出を行なっている	利用者の健康状態や天候を見ながら、散歩や日光浴、近隣のドライブなどに出かけている。また、季節の花見や初詣、ソーメン流し、いちご狩り、道の駅での買い物、外食など、季節に合わせた外出を数多く企画して、可能な限り楽しく外出できるように工夫・支援を行っている。また、家族の援助のもとでの外出や外食、墓参りなども積極的に支援している。今後の計画として庭でのバーベキュー大会も検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望される利用者に対してはお金を所持して頂き、それ以外の方は、施設でお預かりしているが、いつでも使えるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望時や家族からの電話の際は、電話ができるようにしている。携帯電話を所持して自由に連絡される方もいる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関ホールには、季節の花を飾るなど清潔さを保つようになっている。湿度・温度・換気などの環境にも考慮し、居心地のいい環境作りをしている。また、カレンダーや壁飾り等季節に応じて季節感を味わえるようくふうしている。</p>	<p>玄関のホールには季節の花が置かれ、リビングは明るく清潔の保持や空調には細かい配慮が感じられる。周囲の壁には季節が感じられる折り紙や貼り絵等の手作りの作品やカレンダー、行事の写真などが飾られ、職員が作成した人形等も置かれている。畳のスペースやソファも配置され、利用者にとって不快に感じる音や匂いもなく気持ちよく過ごせる環境である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者が利用しやすく落ち付ける位置を考えてソファや椅子を設置している。気候の良い日には中庭で日光浴を楽しまれている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に本人やご家族と相談し使い慣れた家具や品物を可能な限り持参して頂いている。	日常が本人のペースで居心地よく過ごせるように、家族とも相談して家具やテレビ、時計、写真、ぬいぐるみなど馴染みのあるものが持ち込まれている。居室は明るく、ホームからは洗面台・ベッド・タンス・エアコンが設置されている。利用者の状態に合わせて電動ベッドも使用している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアバリアフリーであり廊下や風呂場等動線に合わせて戸惑いや混乱が生じないように目印や表札などを手作りし設置している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない